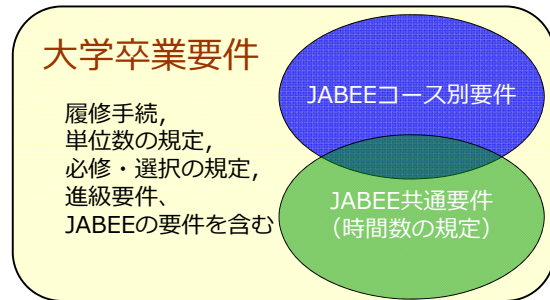


社会基盤コース 授業履修ガイダンス (Part 2)

- 大学の卒業要件にはJABEEプログラム修了要件が含まれる。
⇒ 卒業生はすべてJABEE修了生である。



1

卒業 (& JABEE修了) に求められる条件

1. 本学の卒業要件 ← **大前提**
履修要覧を参照 (必要単位数, 科目の取得)
 2. JABEEに対応した修了要件
 1. **取得単位数** (ただし, 1.の卒業要件を満たせばOK)
 2. **JABEE分野別要件の達成**
 - 「土木および土木関連分野」
 3. **JABEE学習・教育到達目標の達成**
 - 目標(A)~(F)
- 「学習保証時間」は 2012年基準から廃止
 - 「人文・社会科学等(語学を含む)」250h, 「数学・自然科学・情報技術」250h, 「専門」900h, 「総学習時間」1800h
 - **ただし, 一部の目標達成基準では「時間」を利用。**

2

学習・教育到達目標 (社会基盤コース)

詳しくはJABEEカードを参照

- 豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし, 地球的な視点から多面的に物事を考える能力
- 技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し, 技術的課題を解決する能力
- 技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらに応用する能力
- 技術を科学する分析力, 理論的思考力, デザイン力, 実行力
 - 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎を身につける
 - 土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける
 - 社会基盤工学の専門知識に加えて, 建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し, 創造性を発揮して課題を探究, 組み立て, 解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につける
 - 社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し, 制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する実践的技術者としての素養を身につける
 - 社会基盤工学に関する課題に対して, 複数のメンバーで構成されたチームで取り組み, チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける
- 国内外において活躍できる表現力とコミュニケーション力
国内の内外において, 論文, 口頭および情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを的確に表現し, 議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力
- 最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し, 社会環境の変化に対応して生涯にわたって自発的に学習する能力

3

JABEEカード

- 全学生に配布
- 常時携帯する
- 系事務室や系の掲示板, 会議室などに同様の内容を掲示

(おもて)



(うら)



2. J A B E E に対応した修了要件

1. 取得単位数

4年間で124単位以上（学士学位）

- 1年次入学生 …卒業単位：130単位
- 3年次編入学生…卒業単位：130単位
 - 65単位（1, 2年次相当分）を一括認定
（ただし、個別に既修得単位数も確認する。65単位に満たない学生は、個別に指導。）
 - 3, 4年で65単位を取得。→ 65単位+65単位=130単位

5

2. J A B E E に対応した修了要件

2. 分野別要件の達成

「当該分野にふさわしい『数学、自然科学及び科学技術に関する内容』として、以下が考慮されていること。」

- (1) **応用数学**
- (2) **自然科学**（物理，化学，生物，地学のうち少なくとも1つを含む）
- (3) **土木工学の主要分野のうち、最低3分野以上**を含むこと
 - 「土木材料・施工・建設マネジメント」，「構造工学・地震工学・維持管理工学」，「地盤工学」，「水工学」，「土木計画学・交通工学」，「土木環境システム」

6

2. J A B E E に対応した修了要件

3. 学習・教育到達目標の達成

- 学習・教育目標（A）～（F）と科目群または具体的な科目が対応付けられている。
「授業科目と教育目標・教育到達目標，分野別要件との対応表」を参照のこと。
- 学習・教育目標（A）～（F）の達成度評価は，**時間数または特定科目の修得**によって判定される。
- 分野別要件（1）～（3）の達成度は，**時間数，科目数または特定科目の修得**によって判定される。
- 達成状況に関する自己評価（**達成度評価**）
 - これまでの状況把握と来期以降への目標（**中間評価書**）
 - プログラム全体を通しての自己評価，自信が目指す技術者像など（**最終報告書**）

7

今後の予定

- 3年後期開始までに，個別面談を行う予定。
 - 学生ごとに高専4，5年次での修得状況を確認
 - 取得単位数（65単位>？ or 65単位<?）
 - 数学・自然科学に関する学習時間数
 - 主要6分野に関する取得科目数
 - 本学1，2年次開講科目相当のみ認定
 - JABEEカルテの作成
 - 3年前期までの達成度評価
 - 今後の学習計画の作成
 - 担当する教員から指示があるので，**D棟7階の掲示板等**をこまめに確認すること。

8

学習・教育到達目標		評価方法	
		1年次入学生	3年次編入学生
(A)	幅広い人間性と考え方	人文科学関連科目を2科目以上取得	編入学以前（例えば、高専4，5年次）に取得した科目も併せて、人文科学関連科目を2科目以上取得
(B)	技術者としての正しい倫理観と社会性	技術者倫理（必修） 社会科学関連科目または「環境マネジメント」, 「建設法規」から2科目以上取得	技術者倫理（必修） 編入学以前（例えば、高専4，5年次）に取得した社会科学関連科目も併せて、社会科学関連科目または「環境マネジメント」, 「建設法規」から2科目以上取得
(C)	技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力	環境科学，生命科学，応用数学Ⅰ，Ⅱを含めて，数学・自然科学・情報技術に関する学習時間を150時間以上	環境科学，生命科学，応用数学Ⅰ，Ⅱを含めて，編入学以前（例えば、高専4，5年次）に取得した科目の時間数も併せて，150時間以上
(D)	技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力		
(D1)	社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理学の基礎力を身につける	基礎力学，環境物理学，土木数理演習Ⅰ，Ⅱを取得	基礎力学，環境物理学，土木数理演習Ⅰ，Ⅱを取得
(D2)	土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける	土木工学の主要6分野の中から，3分野以上を取得（各分野，3科目以上取得）．また，社会基盤工学（専門科目）に関する学習時間を300時間以上取得する．	土木工学の主要6分野の中から，3分野以上を取得（各分野は編入学以前（例えば、高専4，5年次）に取得した本学1，2年次科目相当の科目も含めて，3科目以上取得）．また，社会基盤工学（専門科目）に関する学習時間を，編入学以前に取得した時間も含めて300時間以上取得する．
(D3)	社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し，創造性を発揮して課題を探索，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につける	プロジェクト研究，卒業研究を取得する． 課程共通選択必修科目Ⅱおよび建築コース選択必修科目Ⅲから2科目以上取得する	卒業研究を取得する． 課程共通選択必修科目Ⅱおよび建築コース選択必修科目Ⅲから2科目以上取得する
(D4)	社会基盤工学に関わる幅広い専門知識を修得し，実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する実践的技術者としての素養を身につける	構造または環境実験，実務訓練を取得する	構造または環境実験，実務訓練を取得する
(D5)	社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み，チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身に付ける	測量学Ⅱ演習，都市システム分析演習，実務訓練を取得する	測量学Ⅱ演習，都市システム分析演習，実務訓練を取得する
(E)	国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力	語学（英語）を8科目以上取得する． 建設学対話，建設英語，実務訓練を取得する． 国語表現法Ⅰ，Ⅱ，日本文化，技術科学日本語の中から2科目以上取得する．	語学（英語）を2科目以上取得する． 建設英語，実務訓練を取得する． 国語表現法Ⅰ，Ⅱ，日本文化，技術科学日本語の中から2科目以上取得する．
(F)	最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力	卒業研究，建設工学特別講義を取得する．	卒業研究，建設工学特別講義を取得する．